

YMFG

# アジアニュース

2021年6月

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所

【現地駐在】TMB銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)

HD銀行(ベトナム・ホーチミン)、明倫国際法律事務所ホーチミンオフィス(ベトナム・ホーチミン)



【ベトナム駐在員】

## 製造拠点としてのベトナムの魅力について

### 1. はじめに

徹底したコロナウイルス対策により、感染拡大を抑え込んでいたベトナムですが、4月下旬からベトナム北部を中心に、インド型やイギリス型の変異ウイルスが猛威を振るっています。ベトナム保険省の発表によると、5月30日時点の死者数は47人、累計感染者数は7,107人となっています。

これを受けて、ベトナム航空局は5月27日から6月4日までの間、タンソンニャット国際空港（ホーチミン市）における旅客の入国を停止、また、28日付けでホーチミン市内全ての飲食店での店内飲食が禁止となりました。

武漢市でコロナウイルスが確認されてから約1年半が経過しましたが、依然として終息の兆しが見えません。海外への渡航制限が続く中、本レポートが皆様の海外ビジネス展開の一助となれば幸いです。

さて、中国に代わる製造拠点として注目を集めているベトナムですが、今回は製造業がベトナムに進出することの魅力、最近のトレンドについて紹介していきます。

### 2. 製造業の進出動向について

ベトナムは、サムスン電子（韓国）の様な外資製造企業の進出によって、大幅に経済を発展させてきました。ベトナム政府は、外資企業からの投資を呼び込むために、工業団地の開発を積極的に推進しており、現在ベトナム全土には370箇所（2021年2月末時点）の工業団地が存在します。ベトナム政府の方針として、外資製造企業は、原則工業団地に入居することが求められています。

ベトナム外国投資庁によると、2020年のベトナムへの投資（新規と拡張）は、新型コロナウイルスの影響で9年ぶりに前年を下回ったとのことですが、業種別では依然として製造業の進出件数が約4割（外資企業認可件数3,663件、内製造業認可件数1,480件）と、最も多くの割合を占めています。

### 3. 製造業進出の魅力について

製造業がベトナムに進出する魅力の1つ目は、若くて安価な労働力が豊富な点です。ベ

トナムは1億人弱の人口を有しており、その内の約40%が29歳以下で構成されています。また、最低賃金は年5~6%上昇していますが、その他の東南アジア諸国と比較するとまだまだ低い水準にあります※1。

人手不足解消のため、技能実習生を採用されている企業様も多いかと存じますが、日本では最低賃金以上の給与支払いが求められる技能実習生に対して、ベトナム国内の一般的な工場作業員であれば月額3万円程度での雇用も可能です。

※1 東南アジア近隣諸国の給与水準（単位：円、1USD=110円にて試算、倍率：小数点第2位四捨五入）

国	製造業	対越倍率	非製造業	対越倍率
ベトナム	25,960	1.0	62,700	1.0
中国	54,230	2.1	113,190	1.8
タイ	49,060	1.9	94,490	1.5
マレーシア	45,540	1.8	97,900	1.6
インドネシア	38,280	1.5	51,920	0.8
インド	30,580	1.2	77,330	1.2

出典：日本貿易振興機構「2019年度アジア・オセアニア進出日系企業実態調査」を基に筆者作成。

2つ目の魅力は、ベトナムにはEPE（Export Processing Enterprisesの略）※2と呼ばれる加工貿易のスキームがある点です。加工した製品の全量をベトナム国外に輸出することを条件に、原材料の輸入関税と付加価値税（VAT）※3の免除、輸出関税の免除、法人税の優遇措置があります。日本国内からの製造移管を検討されている企業様にとっては、とても魅力的なスキームではないでしょうか。

また、輸出用と国内販売用で工場内ならびに帳簿上で区分して管理することで、ベトナム国内向けに販売することも可能です。

※2：EPEの法律上の定義は、「輸出加工区内に設立、操業する企業。あるいは、工業団地や経済区内で輸出向け生産活動を行い、全製品の税関申告が必要な企業」

※3：日本の消費税、基本税率10%

#### 4. ビル型レンタル工場の登場、100㎡からの進出が可能に！

従来、製造業の進出方法は、工業団地から大規模な土地を借りて自社独自の工場を建設するか、1,000㎡内外のレンタル工場に入居するかの2択でした。しかし、工業団地の建設ラッシュにより都市部近郊で工場用の不動産用地が少なくなったこと、中小企業の進出促進のため、ビル型のレンタル工場が登場し、注目を集めています。

ビル型レンタル工場では最小100㎡から賃貸を募集しており、小規模かつ低投資での進出が可能となっています。下記写真は、ホーチミン市から車で1時間弱のロンアン省のロンハウ工業団地と絆工業団地の写真になります。



写真左：ロンハウ工業団地(ロンアン省)の6階建てビル型レンタル工場

写真右：絆工業団地(ロンアン省)の3階建てビル型レンタル工場 【筆者撮影】

## 5. おわりに

実際に進出を検討する際には、事業ライセンスの取得可否、工場内のインフラの整備状況、工場から港までのアクセス、工場労働者が確保しやすい立地かどうか、入居後のサポート体制等、総合的な判断が必要となります。

山口フィナンシャルグループでは、ベトナムをはじめとする海外への事業展開を検討されているお客様のサポートを行っております。コロナ禍で渡航ができないお客様に代わり、駐在員が、現地での情報収集、仕入先や製造委託先の発掘、オンラインによる商談のセッティング等々、様々なニーズに対応いたします。

海外への事業展開に少しでも興味をお持ちの方は、お気軽にお取引店、または山口フィナンシャルグループ海外戦略部までお問い合わせください。

(ベトナム駐在員 織田 恭範)

### 【参考文献】

日本貿易振興機構：<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/01/96f43df7d1bc81d3.html>

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/01/9e1df70d300ee641.html>

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2020/cbdf0cefc691ae25.html>

ベトナム総合情報サイト VIETJO：

<https://www.viet-jo.com/news/economy/210407194828.html>

<https://www.viet-jo.com/news/social/210530223359.html>

Sufex TRADING 出版：工業団地ガイド INVEST ASIA(Vol.11)

週刊 Vetter 出版：製造関連企業のための調達ガイドブック